

国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科



どんなところ

国府台病院は千葉県市川市にあり、東京中心部まで 30 分程度でアクセスできます。糖尿病内分泌代謝内科は総合内科・リウマチ膠原病科・呼吸器内科・循環器内科・感染症内科と共に統合内科として一緒に臨床活動を行っており、代謝・内分泌疾患で専門性を発揮しつつ、内科医として総合的な臨床力を培うことを目標としています。

豊富な症例数

日本糖尿病学会認定教育施設であり、指導医 4 人、専門医 4 人が所属し教育体制が充実しています。外来患者数も 2000 人前後で、DPC 病院の中では二次医療圏（千葉県）で最も糖尿病内科の入院患者数が多い病院です。1 型、2 型糖尿病はもちろん、糖尿病性ケトアシドーシスなどの急性期合併症、感染症や心不全などの併存症、糖尿病性ケトアシドーシス、周術期血糖管理など豊富な症例を経験することができます。

研究・学会・論文

臨床研究も積極的に行っており、若手医師も糖尿病学会総会などで多くの発表を行っております。また、国際学会での発表、論文の執筆にも積極的に取り組んでいます。

働きやすさ

土日や時間外は担当医制ではなく当直医制です。また後期研修医から常勤となり厚生年金に加入、国家公務員となります。育児時間制度・院内保育園もあります。また科内での医師・病院スタッフ共に人間関係が良好です。

★オンライン説明会★

2022 年 4 月 24 日、6 月 26 日、12 月 18 日 11 時－12 時

病院見学のご希望を随時受け付けております。コロナ渦であり、病院見学が難しい方は、オンライン Teams や随時メールでのお問い合わせいただけます。レジデント・専門医をとりたての医師・子育て真最中の男性・女性医師のお話も聞いて頂けます。まずはご連絡をください！

国立国際医療研究センター国府台病院
糖尿病内分泌代謝科長・副院長 柳内 秀勝
事務部管理課 庶務係長 電話 047-372-3501
説明会・見学希望者申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/bdTH8PGbCZ>



●当院の特徴

国立国際医療研究センター（NCGM）は本邦に 6 つある国立高度専門医療研究センターの 1 つです。当院の糖尿病内分泌代謝内科は、統合内科の一員として、総合内科・リウマチ膠原病内科・循環器内科・呼吸器内科と一緒に日々診療を行っており、内科全般の疾患も対応できることが魅力の一つです。基本的に 2 - 3 人のチームで一人の患者さんを担当し、レジデントの先生には上級医が必ずつき、相談をしながら治療計画を立ててゆきます。各科の垣根も低く、色々な科の先生が担当になってチーム医療を行うこともあります。

また、当院は国立精神神経センターを前身とし、統合失調症やうつ病などの患者さんが多いのも特徴です。また、高齢者の患者さんも多く、社会背景などを考慮しつつ、患者さん一人一人に合わせた治療を行っております。

●スタッフについて

令和 4 年度はレジデント 4 人、専門医 8 人（うち指導医 3 人）のメンバーと、研修医が概ね 1 - 3 人おります。

医師の他にも、日本糖尿病療養指導士（CDEJ）、地域糖尿病療養指導士（CDEL）、フットケアの資格を持つ看護師、リハビリ科スタッフ、栄養士、薬剤師と共に個々の患者さんについて話し合いながらチーム医療を行っております。職種に関わらず、とにかく仲が良かったです！



●レジデントの一日

例)

月	火	水	木	金
朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス	朝カンファレンス
救急当番		内科外来	発熱外来	糖尿病外来
16-17 時糖尿病 カンファレンス・ 抄読会	午後外勤	16 時半-17 時 統合内科 症例カンファレンス	16 時半-17 時 統合内科 症例カンファレンス	

3 年目の先生は内科外来を週 1 回、4 年目の先生は糖尿病外来も週に 1 回追加になります。数カ月に 1 度糖尿病教室を担当し、患者さんへの説明をしていただきます。また、週に半日外勤枠があります。数は多くありませんが、内科全般の救急車の対応をする救急当番、COVID-19 感染症を疑う患者を対応するトリアージ外来も担当して頂きます。

担当した糖尿病患者さんについては月曜の 16-17 時に「糖尿病チェックシート」を用いて症例発表を行います。

外部研修では、国際医療研究センター病院をはじめ他院の糖尿病内分泌代謝内科等の外部病院での研修も可能です。



●専門医制度について

当院は日本糖尿病学会認定教育施設であると共に、日本内科学会教育関連施設です。まずは内科専門医試験を取得後、糖尿病専門医試験を受けていただきます。糖尿病は合併症やへ依存症も多く、総合的に患者さんをみれる医師を目指していただきたいと思います。また、当院は日本老年病医学会認定教育施設であり、老年科専門医の取得も可能です。

●豊富な症例数・機材

糖尿病専門医試験で経験が必要な1型糖尿病、網膜症合併、腎症症例などたくさんいます。インスリンポンプを用いた周術期管理、持続血糖測定器(CGM: Continuous Glucose Monitoring)、SAP(Sensor Augmented Pump)療法を用いた治療も行っております。



(左) CGMトランスミッタおよびCGMエンライトセンサ
(右) ミニMD 620G インスリンポンプ



●学会発表

日本糖尿病学会総会には毎年5例前後の演題発表を行っております。国外では、ヨーロッパ糖尿病学会、アジア糖尿病学会、国際糖尿病連合などへの発表を行っております。

●研究

国立国際医療研究センターとして常時10件前後の臨床研究を行っております。興味のある研究があれば、上級医と相談の上新規に行うこともできます。臨床研究支援室のスタッフも常駐し、統計解析のソフトSPSSも数台あり充実した環境です。

●院内保育園について

当院敷地内に保育園があります。市川市認可の保育園ですので条件がありますが、職員優先で入ることができます。夜間の対応はありませんが、延長の申請を行えば、朝7時半から8時まで対応可能です。院内にも20名以上の利用者があり、和気あいあいとしています。ご家庭の状況などを踏まえ当直なども相談可能です。

